資質能力の視点

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力等】	【学びに向かう力・人間性等】
・はたらく意義 ・体力・持久力・集中力 ・社会のいろいろなきまり	・振り返る力・改善する力 ・課題を解決する力 ・将来を設計する力	・すすんできまりや約束事を守ろうとする態度 ・学ぶ・はたらくことに対してやりがいを感じ、意欲的・主体的に取り組む態度 ・自らを振り返り改善しようとする態度 ・主体的に地域社会に参画したり、貢献したりしようとする態度

取組の目的

○働くこと、かかわることなど社会生活に必要な資質能力を育む
◯学校とは異なる実際の場での活動で活用する場面として位置づけ、働くことの基礎的な知識や技能の習得。
◯教育課程上、他の学習とのつながりを意識することで、生徒一人一人のパッケージの指導として、キャリア発達を促すよう設定。

年間計画

実施日、実施場所

毎週金曜日　10:00～11:30
（7月期:1．3年、9月期:1．2年、11月、1月期:全学年）

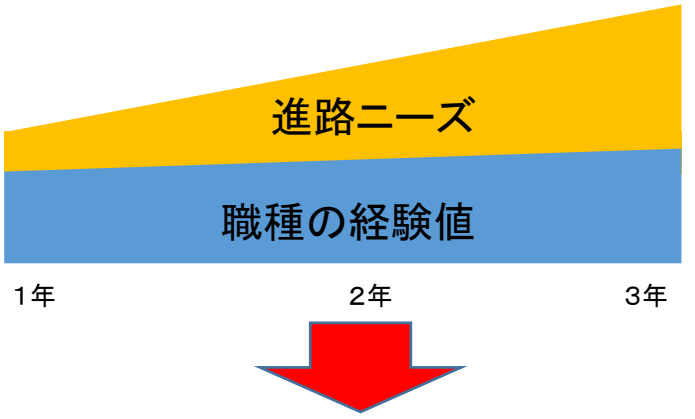
近隣の企業や事業所と連携したデュアルシステムの構築

チャレンジワーク班 近隣の企業等での作業	エンジョイワーク班 校内受注作業
（内容） ○高齢者施設 ・デイサービスの補助業務 ・利用者との交流 ・清掃業務 ○大学生協 ・商品の陳列 ・清掃業務 ・接客	（内容） ○ティッシュの袋詰め　○袋のシール貼り ○紙袋づくり　○プラモデルづくり ○チラシの訂正紙貼り　○チラシ折り

進路指導主事と就職支援コーディネーターを中心に近隣企業の職場開拓、受注先の検討を行うとともに、これまで職場体験や現場実習、また卒業生の就労先などお世話になっている場所を中心に、新たな受注先を選択。

班編成について

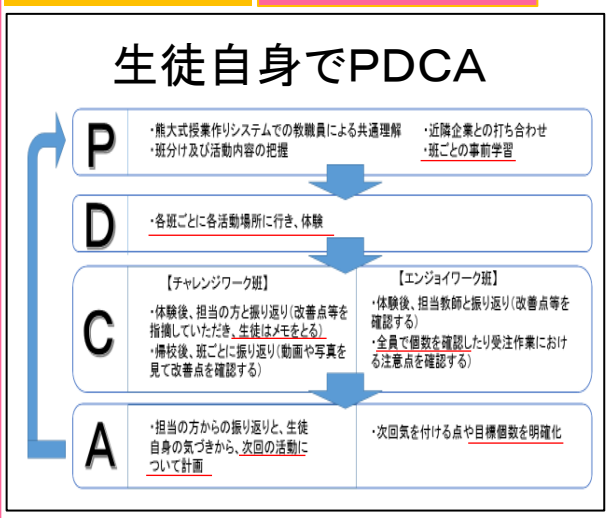
様々な職種の経験値や進路のニーズに応じて、縦割りの班を編成



生徒一人一人の教育的ニーズに応じた場での活動を！！

取組の実際

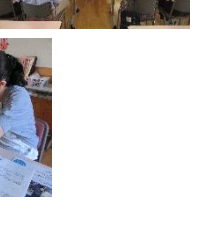
トライアル作業



指導の工夫	P　事前指導	D学習場面での指導	CA　事後指導
チャレンジワーク班	生徒一人一人の教育的ニーズに応じて内容や目標の設定 仕事内容の明確化	職場での実際の場面で指導支援を行い、現場でフィードバック	次回の目標設定や活動内容を考えるために動画や写真で振り返り
エンジョイワーク班	生徒のニーズに応じた内容・目標の設定	分かりやすい場の設定と働く意識を高めるために衣服を統一	達成感を味わうために出来高を確認

職業セミナーの開催

～外部講師をお招きして～
【1回目】職業単元開始前
「働くための準備をしよう」（親子で）
【2回目】職業単元終了後
「自分の良い面、苦手な面を知ろう」



黒髪しょうぶ苑（高齢者施設）での取組を通して

生徒の様子

高2男子。サービス班。
自分に興味のないことには乗り気ではないが、夢を持っていてやりたい職種も決まっている。
周囲の人を笑わせようとして、場を盛り上げることがある。

目標

・働くことの意義を理解し，活動に意欲的に取り組み，働く喜びを味わうことができる。
・企業の方からのアドバイスを聞き、振り返り、次の活動で改善することができる。

支援として

黒髪しょうぶ苑での振り返り時にメモを活用
学校で写真や動画を用いた振り返り
次の時間、どのようなレクリエーションを行うか検討する時間の確保

担当者からのアドバイス

・発表する時は利用者の方の目を見る
・視線が定まっていない
・伝えたい方にしっかり伝える意識
・声が出ないならジェスチャーで！
・耳が遠いので、みんなで盛り上げる
・臨機応変な対応
・「～ですね」などの寄り添う気持ち
・楽しませようとする気持ち
・黒板に書くなどの分かりやすい提示
・横文字ではなく日本語を使う

結果

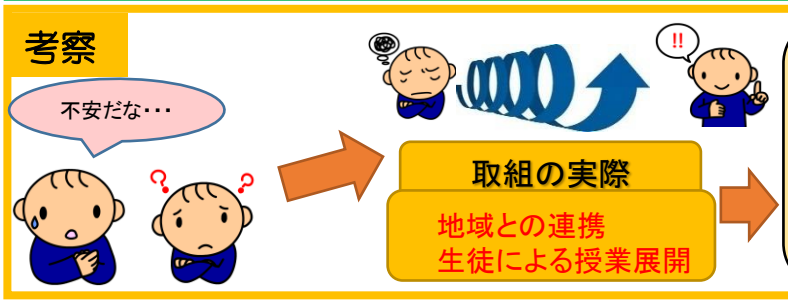
～自己評価より～

	目標		あいさつ	積極的に関わる	質問や相談	協力の姿勢
1回目	自分から笑顔で話したい	○	◎	○	○	○
2回目	手品を楽しく成功して、喜ばせたい	◎	◎	◎	○	○
3回目	利用者の方が楽しくするためには自分から会話する	○	◎	○	○	○

日時・場所	活動内容	生徒の振り返りから　○:良かった点　●:課題点
1回目 11月25日 デイサービス棟	①自己紹介　②合唱 ③職員の方とクイズ出題	●大きく聞こえるように話して、字が見えやすく書く。 ●発表する時は必ず相手の目を見ることがわかった。 ●次からは、相手の目を見て発表することを頑張る。 ●緊張したけど、次からは目立つように面白くしたい。
2回目 12月2日 デイサービス棟	音楽クイズ、手品、利用者と一緒に制作活動	○手品をした結果、見事成功し、喜ばせることができとても良かった。 ○アンコールと声をかけてくださったのが嬉しかった。 ○制作活動で、自分から利用者の方に声をかけることができ、とても良かった。 ●次からは、もっと自分から笑顔で話しかけたい。
3回目 1月13日 老人ホーム棟	じゃんけん大会、手品、ご長寿クイズ（○○さんクイズ）	○自分から会話をすることが少しできるようになった。 ○利用者の方が楽しく笑っていたのは、自分にとっていいなと思った。 ●準備が少し遅れていたので、次からは早く準備するのを頑張る。

地域を活用した学びから資質能力の向上へ

考察



教師側の課題として・・・

- 振り返りの時間の確保
- 年間計画の見直し
- 取組場所（受注先）の妥当性
- 教職員間の共通理解

→ 教育課程の見直し